

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 **連載第9回**

なんと警察対策に手を打つJR東日本！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より抜粋）

<週刊現代2006年9月16日発売号>

松崎明の全犯罪を告発する衝撃本！ 『小説労働組合』

「社長の主張はわかった。警察はオレをこともあろうに、組織の財産を食い物にしていると疑っているようだ。オレにもしものことがあれば労使一体をつくる前に、労組内は大変なことになるのは必至だ。そうなれば会社にも大きな影響が出る」（大元 = 松崎）

「そのことだが、警察の調査はかなり進んでいると聞いている。大元に、いざというようなことにならないようにと思っているのは会社も同じだ。組合の今後の動きにもよるが、努力はしてみたいと思っている」（社長）

警察対応に努力するとの社長の言葉に、大元の太い眉が一瞬、ぴくりと動いた。「社長の気持ちはわかった。とにかく労使一体で、この難局は乗り切っていかなければならない」（大元）

二人は顔を見合わせ、ニンマリして互いの杯に酒を注ぎ合った。・・・

連続追及第9弾
JRの妖怪松崎明の全犯罪告発する衝撃本
西岡研介

週刊現代

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 『小説労働組合』が告発する松崎明JR東労組元委員長の『犯罪』」と題するこの記事は、革マル派最高幹部・松崎明氏の組合私物化の実態を赤裸々に明らかにしています。問題は、松崎氏の「右腕」が書いたといわれるこの『小説』において、間近で目撃したとしか思えない迫真の描写で、松崎氏とJR東日本最高幹部との、「癒着の証拠」ともいえる密会場面までが詳細に描かれていることです。

松崎明氏の延命に手を貸すJR東日本会社は、革マル派と一蓮托生だ！